

第 6 号議案

平成 2 9 年度福井県公立学校教員採用選考試験について

別紙のとおり、平成 2 9 年度福井県公立学校教員採用選考試験を実施する。

平成 2 8 年 5 月 1 3 日提出

教育長 森 近 悦 治

提 案 理 由

平成 2 9 年度福井県公立学校教員採用選考試験を実施したいので、この案を提出する。

平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験（案）

1 日程

(1) 受付期間 5月23日（月）～6月3日（金）《電子申請は～5月31日（火）》

(2) 選考試験

・第1次選考 7月16日（土）・17日（日） 一般教養、教職専門、専門教科
 ・第2次選考 8月 6日（土） 適性検査、小論文
 8月 7日（日）～10日（水） 個人面接、集団討論

(3) 選考結果の発表 10月上旬

2 採用予定者数

(1) 一般選考

教諭	小学校	110名程度						約230名
	中高一括募集	中高国語	14名程度	中高社会	14名程度	中高数学	16名程度	
		中高理科	16名程度	中高英語	20名程度	中高音樂	若干名	
		中高美術	若干名	中高保体	若干名	中高家庭	若干名	
	中学校	中学技術 若干名						
高等学校	高校農業	若干名	高校工業	若干名	高校商業	若干名		
		高校福祉	若干名					
	特別支援学校	20名程度						
養護教諭								15名程度
栄養教諭								5名程度

(2) 特別選考（すべて一般選考の採用予定者数に含める）

- 身体障害者特別選考 若干名
- 大学院修士課程修了時特別選考 若干名
- スポーツ・芸術特別選考
 - ・スポーツ分野（国体競技等で国際レベルの大会出場や全国レベルの実績） 7名程度
 - ・芸術分野（美術、音楽において全国レベルのコンクール等で優秀な実績） 若干名
- 教育エキスパート特別選考
 - ・専門教育分野【中高数学、中高理科、高校農業、高校工業、高校福祉】
（民間企業等での3年以上の実務経験または博士の学位を有する者） 若干名
 - ・英語教育分野【中高英語】
（英語を母語とする外国籍の者、5年以上の英語圏在住経験または3年以上の英語を用いた実務経験を有する者） 若干名

3 受験資格

- ・学校教育法第9条および地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者
- ・相当する普通免許状を所有する者または取得見込みの者（教育エキスパート選考を除く）
- ・平成29年4月1日現在60歳未満の者

4 今年度の主な変更点

- ・国社数理英を中高一括募集枠とする。
- ・英語資格、中国語資格による加点制度を導入する。
- ・特定分野の高い知識・技能を有する人材を採用するため、教育エキスパート特別選考を実施し、教員免許状を所有していない者については、採用時に特別免許状を授与する。

平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験実施要項

福井県教育委員会

- ◎ 受付期間 平成28年5月23日(月)～6月 3日(金)《電子申請は～5月31日(火)》
- ◎ 第1次選考 平成28年7月16日(土)～7月17日(日)
- ◎ 第2次選考 平成28年8月 6日(土)～8月10日(水)

平成29年度に福井県公立学校(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)教員を採用するため、福井県公立学校教員採用選考試験を次のとおり実施します。

1 受験資格

(1) 一般選考

次のア～ウのいずれにも該当する者が受験できます。

- ア 学校教育法第9条および地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者
- イ 受験する職種・校種・教科に相当する教諭、養護教諭、栄養教諭のいずれかの普通免許状を所有する者または平成29年3月31日までに取得見込みの者
- ウ 昭和32年4月2日以降に生まれた者(平成29年4月1日現在60歳未満の者)

(2) 身体障害者特別選考

- ア (1)の一般選考の受験資格に該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者
- ウ 自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに職務の遂行が可能な者

(3) 平成29年度大学院修士課程修了時特別選考(※教職大学院も大学院修士課程とみなします。)

- ア (1)の一般選考の受験資格に該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 平成27年度または平成28年度福井県公立学校教員採用選考試験において、平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験の特別選考受験を認められた者
- ウ 平成29年3月31日までに、平成27年度または平成28年度福井県公立学校教員採用選考試験において選択して受験した校種・教科の専修免許状を取得見込みの者

(4) スポーツ・芸術特別選考

①スポーツ(国体競技指導者等)分野

- ア (1)の一般選考の受験資格ア、ウに該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。ただし、この選考で内定した者は、所有する免許状に応じて、採用後に勤務校を決定します。
- イ 教諭の普通免許状を所有する者または平成29年3月31日までに取得見込みの者
- ウ 国民体育大会の正式競技および硬式野球において、次に掲げる実績を平成23年4月1日以降に収め、それ以降も引き続き活動を続けている者
 - (a) 国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会およびこれに準ずる大会)に日本代表として出場した者
 - (b) 全国レベルの大会(日本選手権大会およびこれに準ずる大会)において団体種目はベスト4以上、個人種目はベスト8以上の成績を収めた者(ただし、団体種目については正選手として出場した者に限る。また、教職員の全国大会や全国大会の2部は除く)

②芸術分野

- ア (1)の一般選考の受験資格ア、ウに該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。
- イ 中学校または高等学校の音楽または美術の教諭の普通免許状を所有する者、または平成29年3月31日までに取得見込みの者
- ウ 全国レベルのコンクール、展覧会で優秀な実績を収めた者

(5) 教育エキスパート特別選考

教育エキスパート特別選考は、教員免許状所有の有無は問いません。免許状を所有していない者には、福井県教育委員会が行う特別免許状検定の合格をもって採用時に特別免許状を授与します。

※特別免許状制度とは、優れた知識経験等を有する社会人等を教員として迎え入れることにより、学校教育の活性化を図る観点から定められた制度です。都道府県教育委員会が実施する教育職員検定に合格した者に特別免許状を授与し、その都道府県においてのみ効力を有します。

①専門教育分野【中高数学、中高理科、高校農業、高校工業、高校福祉】

ア 一般選考の受験資格アおよびウに該当する者で、次のイおよびウのいずれにも該当する者が受験できます。

イ 民間企業等で3年以上の実務経験を有する者または博士の学位を有する者

ウ 教科（数学、理科、農業、工業、福祉）に関する専門的知識や技能（資格）を有する者

②英語教育分野【中高英語】

ア 一般選考の受験資格アおよびウに該当する者で、次のイまたはウのいずれかに該当する者が受験できます。

イ 英語を母語とする外国籍を有し、教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者

ウ 5年以上の英語圏在住経験もしくは3年以上の民間企業等における英語を用いた実務経験を有する英語の堪能な日本人

※ 日本国籍を有しない者を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

2 採用予定者数

(1) 一般選考

教諭	小学校	110名程度						約230名	
	中高一括募集	中高国語	14名程度	中高社会	14名程度	中高数学	16名程度		
		中高理科	16名程度	中高英語	20名程度	中高音楽	若干名		
		中高美術	若干名	中高保体	若干名	中高家庭	若干名		
	中学校	中学技術 若干名							
	高等学校	高校農業	若干名	高校工業	若干名	高校商業	若干名		
		高校福祉	若干名						
	特別支援学校	20名程度							
養護教諭									15名程度
栄養教諭									5名程度

※上記表の太字が「受験する校種・教科等」の名称になります。

(2) 身体障害者特別選考

若干名（一般選考の採用予定者数に含めます。）

(3) 平成29年度大学院修士課程修了時特別選考

若干名（教諭の一般選考の採用予定者数に含めます。） ※受験する校種・科等は「H29大学院特別」

(4) スポーツ・芸術特別選考

①スポーツ（国体競技指導者等）分野 7名程度（教諭の一般選考の採用予定者数に含めます。）

※受験する校種・教科等は「スポーツ特別」

②芸術分野 若干名（教諭の一般選考の採用予定者数に含めます。）

※受験する校種・教科等は「芸術特別」

(5) 教育エキスパート特別選考

①専門教育分野 若干名（教諭の一般選考の採用予定者数に含めます。）

※受験する校種・教科等は「専門特別」

②英語教育分野 若干名（教諭の一般選考の採用予定者数に含めます。）

※受験する校種・教科等は「英語特別」

3 併願

募集のある校種・教科について併願を行うことができます。

(1) 一般選考

2つの校種を併願して受験することができます。ただし、以下の併願はできません。

- ・「小学校」と「高校教科（農・工・商・福）」
- ・同じ校種の異教科
- ・教諭（全校種）と「養護教諭」
- ・教諭（全校種）と「栄養教諭」
- ・「養護教諭」と「栄養教諭」

第2希望 第1希望	小学校	中高一括	高校(農・工・商・福)	中学技術	特別支援	養護教諭	栄養教諭
小学校		○	×	○	○	×	×
中高一括	○		○	○	○	×	×
高校(農・工・商・福)	×	○		○	○	×	×
中学技術	○	○	○		○	×	×
特別支援	○	○	○	○		×	×
養護教諭	×	×	×	×	×		×
栄養教諭	×	×	×	×	×	×	

○は併願可能

(2) 身体障害者特別選考

一般選考に準じます。

(3) 平成29年度大学院修士課程修了時特別選考

この特別選考は、併願をすることはできません。志願書や登録票、受験票、写真票等の「受験する校種・教科等」の第1希望には「H29大学院特別」（登録票には「8000」）と記入し、第2希望には「なし」（登録票には「9999」）と記入して出願してください。

(4) スポーツ・芸術特別選考 ①スポーツ（国体競技指導者等）分野 ②芸術分野

一般選考を第2希望として併願できます。提出された書類等による選考でスポーツ・芸術特別選考の対象となった人が一般選考も希望している場合は、第1次選考一部（一般教養、教職教養）免除の対象となります。提出された書類等による選考でスポーツ・芸術特別選考の対象とならなかった人が一般選考も希望している場合は、全ての試験を受ける必要があります。

志願書や登録票、受験票、写真票等の第1希望に「スポーツ特別」（登録票には「9001」）または「芸術特別」（登録票には「9002」）、第2希望には、「受験する校種・教科等」を記入してください。

(5) 教育エキスパート特別選考 ①専門教育分野 ②英語教育分野

これらの特別選考は、併願をすることはできません。志願書や登録票、受験票、写真票等の「受験する校種・教科等」の第1希望には「専門特別」（登録票には「9003」）または「英語特別」（登録票には「9004」）と記入し、第2希望には「なし」（登録票には「9999」）と記入して出願してください。

4 受験手続および受付期間

(1) 志願書等受付

ア 受験手続は、郵送（簡易書留）による方法と、「ふくe-ネット電子申請サービス」（以下「電子申請」と表記します）による方法とがあります。持参による出願は受け付けません。

イ 次の「(2) 提出書類」に記載されている書類を、平成28年5月23日（月）から6月3日（金）までに、学校振興課あて、簡易書留で郵送してください。特に、5月30日（月）から6月3日（金）までの間の郵送については、簡易書留速達としてください。なお、封筒には「教員採用選考試験志願書在中」と朱書してください。6月3日（金）の消印のあるものまで有効とします。

ウ 一般選考で第1次選考の全てを受験する志願者は電子申請による出願ができます。

電子申請による申込みは、平成28年5月23日（月）から5月31日（火）の午後7時まで、正常に受信したものに限り受け付けます。（内容に不備のある場合、受信できないこともありますので、ご注意ください。）

※ 詳しくは、「福井県教育庁 学校振興課」ホームページ内の電子申請利用案内を参照してください。

エ 電子申請後、次の「(2) 提出書類」に記載されている封筒と写真を、平成28年6月3日（金）までに、学校振興課あて、簡易書留で郵送してください。なお、封筒には、「教員採用選考試験電子申請提出書類」と朱書してください。

(2) 提出書類

対象			受付期間	必要書類(共通)	必要書類(該当者のみ)
郵送	一般選考	全てを受験	5月23日（月）～ 6月3日（金）	①平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験志願書 ②平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験志願者登録票 ③返信用封筒3枚 ④受験票および写真票 《注意事項》 ①②記入上の注意、記入例(P16～20)をよく見て、所定の用紙に必要事項を記入してください。 ③長形3号12cm×23.5cm 糊付きワンタッチシールのもの(両面テープの貼り付け可) 封筒それぞれに、住所、氏名「様」を記入し、92円切手を貼ってください。 ④志願書用と同じ写真(縦4.5cm×横3.5cm)の裏面に氏名を記入し、写真票に張り付けて提出してください。	※次のうち該当するいずれかの申請書 ⑤第1次選考一部免除調書A(国際貢献活動経験者選考用) ⑥第1次選考一部免除調書B(他都道府県現職教員選考用) ⑦第1次選考一部免除調書C(講師等経験者選考用)
		一部免除希望者			※次のうち該当するいずれかの申請書 ⑧身体障害者特別選考申請書 ⑨大学院修士課程修了時特別選考申請書 ⑩スポーツ・芸術特別選考①スポーツ分野申請書 ⑪スポーツ・芸術特別選考②芸術分野申請書 ⑫教育エキスパート特別選考①専門教育分野申請書 ⑬教育エキスパート特別選考②英語教育分野申請書
電子申請	一般選考	全てを受験	5月23日（月）～ 5月31日（火）	電子申請後、③④を6月3日（金）までに郵送してください。 ③返信用封筒3枚 ④写真2枚(志願書用、写真票用) 《注意事項》 ③長形3号12cm×23.5cm 糊付きワンタッチシールのもの(両面テープの貼り付け可) 封筒それぞれに、住所、氏名「様」を記入し、92円切手を貼ってください。 ④2枚同じ写真(縦4.5cm×横3.5cm)の裏面に氏名を記入してください。	

(3) 書類提出先・電子申請申込み先

① 郵送による出願の場合

福井県教育庁学校振興課 〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号

② 電子申請による出願の場合

福井県教育庁学校振興課ホームページ

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gakushin/>

「ふく e-ネット電子申請・届出サービス」窓口アドレス

<https://www.e-tetsuzuki99.com/eap-jportal/fukui/>

5 選 考 試 験

(1) 一般選考

①第1次選考

ア 試験内容等

(ア) 一般教養

(イ) 教職専門

(ウ) 教科等専門（受験する校種・教科等の専門試験）

(a) 筆記試験は、すべての校種・教科等で実施します。併願をする場合は、第1希望、第2希望ともに筆記試験を受験する必要があります。

(b) 「中高社会」希望者のうち、「高校地歴」または「高校公民」いずれかの免許しか所有していない（取得見込みも含む）者に限り「高校地歴」または「高校公民」の試験を受験できます。

(c) 実技試験等は、「小学校」、「中高音楽」、「中高美術」、「中高保健」、「中高家庭」、「中高英語」において実施します。実技試験等の主な内容は次のとおりです。

※ 試験当日に案内で、実技の詳細な日程や場所等をお知らせします。

【第1日】 7月16日（土）実施

対 象	実 技 試 験 の 主 な 内 容
「小学校」 受験者	・水泳 … クロールまたは平泳ぎのどちらか1種目を各自が選択して泳ぐこととする。（25m） ・キーボード演奏 … 次の小学校歌唱教材の中から、各自選択した1曲の伴奏を演奏する。（繰り返し不要・前奏付き） ※キーボードは鍵盤数が61のものを使用し、音の強弱や速度の変化や足のペダルはないものを前提として実施する。 ※平成27年度改訂版教科書の伴奏譜より、本格伴奏または簡易伴奏を演奏する。（本格伴奏と簡易伴奏で評価に優劣はつけない） 【参考】『新 音楽の授業づくり』（教育芸術社）より ・「茶つみ」（3年生歌唱教材）…P128 ・「もみじ」（4年生歌唱教材）…P136 ・「こいのぼり」（5年生歌唱教材）…P137 ・「おぼろ月夜」（6年生歌唱教材）…P146

【第2日】 7月17日（日）実施

対 象	実 技 試 験 等 の 主 な 内 容
「中高音楽」 受験者	(1) 弾き歌い 次の中から、当日指定された曲を自らのピアノ伴奏で主旋律を歌う。 ・「荒城の月」（土井晩翠作詞・滝廉太郎作曲・飯沼信義伴奏編曲） ・「早春賦」（吉丸一昌作詞・中田 章作曲） ・「花」（武島羽衣作詞・滝廉太郎作曲） ・「花の街」（江間章子作詞・團伊玖磨作曲） ・「浜辺の歌」（林古溪作詞・成田為三作曲） なお、伴奏は原曲または教科書によることを原則とする。ただし、移調は可とする。 (2) 初見演奏 当日提示された楽譜（主旋律にコードネームが付いた楽譜）を見て、主旋律に即興的な伴奏をつけて演奏する。ただしコードネームは、メジャーコードとマイナーコード（セブンスコードを含む）とする。 (3) 自由演奏 各自の選曲により声楽または器楽（和楽器を含む）のいずれかを演奏する。なお、伴奏者の同伴を可とする。
「中高美術」 受験者	(1) デッサン (2) デザイン

「中高保体」 受験者	基礎体力テスト（反復横跳び、立ち幅跳び）、器械運動（マット運動）、武道・ダンス（柔道、剣道、ダンス）、球技（バレーボール、バスケットボール）の4分野8種目の実技試験を行う。
「中高家庭」 受験者	（1）食物 （2）被服
「中高英語」 受験者	英語による口頭試問

イ 試験期日および会場等

期 日	内 容	会 場
平成28年 7月16日（土）	一般教養、教職専門、 小学校（筆記・実技）、 高校（農・工・商・福）、中学技術、 養護教諭、栄養教諭	福井県立藤島高等学校 (福井市文京2-8-30) 小学校実技（水泳）の会場 男性：福井市松本小学校 (福井市町屋3-14-20) 女性：福井市春山小学校 (福井市文京3-13-1)
平成28年 7月17日（日）	中高一括各教科、特別支援学校 ※中高一括（音・美・体・家）実技、 中高一括（英）英語による口頭試問	

※ 実技試験の詳細については、試験当日の日程等のお知らせで確認してください。

※ 小学校実技（水泳）については、別会場に徒歩で移動となります。藤島高校から松本小学校（男性会場）まで徒歩で約12分、春山小学校（女性会場）まで徒歩で約5分です。

ウ 試験日の日程

第1日 7月16日（土）

8:10	8:30	8:50	9:00	10:00	10:20	11:20
受付	出欠確認 諸注意		一般教養 60分		教職専門 60分	
					10:50	11:10 11:25
					一部免除 者受付	諸注 意

11:40	12:50	13:10	17:00
小学校 70分	準備	小学校 実技	
高校（農・工・商・福）90分		14:00 15:30	
養護教諭・栄養教諭90分		中学技術90分	

※ 小学校実技の試験時間は当日お知らせします。終了時刻は受験者により異なります。

※ 昼食は空き時間で適宜とってください。

第2日 7月17日(日)

8:10 8:30 8:50 9:50 17:00

受付	出欠 確認	中高一括 (音・美・体・家) 60分	中高一括(音・美・体・家)実技 中高一括(英)英語口頭試問
		10:20 10:40 12:10	
		中高一括 (国・社・数・理・英) 90分	特別支援 90分

※終了時刻は受験者により異なります。 ※昼食は空き時間で適宜とってください。

②第2次選考……第1次選考の合格者に、選考結果通知時に集合時刻、日程等を連絡します。

ア 試験内容等

(ア) 適性検査 (イ) 小論文 (ウ) 個人面接および集団討論

イ 試験期日および会場等

期 日	内 容	会 場
平成28年8月6日(土)	適性検査、小論文(60分)	福井県立藤島高等学校 (福井市文京2-8-30)
平成28年8月7日(日) ～10日(水)	個人面接および集団討論 (4日間のうち指定した1日)	

(2) 身体障害者特別選考

ア 試験内容等

第1次選考・第2次選考ともに前記「(1) 一般選考」と同じです。

イ 身体障害者特別選考対象者決定の通知

提出された書類等により、身体障害者特別選考対象者を決定します。その結果は受験票送付時に通知します。なお、身体障害者特別選考対象者にならなかった場合には、一般選考対象者として第1次選考から受験できます。

ウ 提出書類

P4の「4 受験手続および受付期間(2)」の必要書類(共通)①～④に加えて、「⑧ 身体障害者特別選考申請書」を提出してください。

(3) 平成29年度大学院修士課程修了時特別選考

ア 試験内容等

(ア) 適性検査 (イ) 個人面接

(ウ) レポート (a) 内容……「大学院で学んだことをどのように学校で生かしていくか」について

(b) 様式……400字詰め原稿用紙3枚(1200字)程度

または、A4用紙横書き(40字×30行)1枚程度

(c) 提出期限……平成28年7月21日(木)午後5時15分必着

(d) 提出先……福井県教育庁学校振興課

イ 試験期日および会場(8月初旬に日程詳細等を連絡します。)

(ア) 期日……平成28年8月6日(土)

(イ) 会場……福井県立藤島高等学校

ウ 提出書類

P4の「4 受験手続および受付期間(2)」の必要書類(共通)①～④に加えて、「⑨ 大学院修士課程修了時特別選考申請書」を提出してください。

(4) スポーツ・芸術特別選考 ①スポーツ（国体競技指導者等）分野 ②芸術分野

ア 試験内容等

(ア) 適性検査 (イ) 個人面接 (ウ) 小論文

イ 特別選考対象者決定の通知および手続き上の留意点

提出された書類等により、スポーツ・芸術特別選考対象者を決定し、受験票送付時に通知します。

※「受験する校種・教科等」の第1希望の欄に「スポーツ特別」または「芸術特別」と記入し、一般選考も希望する人は、第2希望の欄には、「受験する校種・教科等」を記入してください。

※スポーツ・芸術特別選考の対象となった人が一般選考も希望している場合は、第2希望に記入した「受験する校種・教科等」での受験となりますが、その際には第1次選考一部（一般教養、教職教養）免除の対象となります。

※スポーツ・芸術特別選考の対象とならず、一般選考として受験する場合は、第2希望に記入した「受験する校種・教科等」での受験となります。一部免除の対象とはならないので、全ての試験を受ける必要があります。

※第2希望の記入のない者がスポーツ・芸術特別選考の対象とならなかった場合、この段階で試験は終了です。

	対象者 審査 結果	一般選 考希望	一般 教養	教職 専門	教科等専門 (筆記・実技)	第1次選考の可否審査	第2次選考の可否審査
スポーツ・ 芸術 特別選考 出願	○	なし					スポーツ・芸術特別選考 での可否判定
		あり	免除	免除	受験	一般選考での可否判定	
	×	あり	受験	受験	受験		一般選考での可否判定
		なし	この段階で試験終了です。				

ウ 試験期日および会場

(ア) 期日 平成28年8月6日(土) (イ) 会場 福井県立藤島高等学校

エ 提出書類

P4の「4 受験手続および受付期間(2)」の必要書類(共通)①～④に加えて、次の書類が必要です。

申請書 「⑩ スポーツ・芸術特別選考①スポーツ分野申請書」または「⑪ スポーツ・芸術特別選考②芸術分野申請書」

証明書 ①スポーツ分野：P1の「1 受験資格(4)」に掲げる各大会の成績を証明する賞状の写しまたは競技団体が発行する成績証明書(開封無効)または日本代表として出場したことを証明する書類(開封無効)

②芸術分野：P1の「1 受験資格(4)」に掲げる全国レベルのコンクール、展覧会などの賞状の写しまたは団体が発行する成績証明書(開封無効)

賞状の写しの提出者は、6月10日(金)午後5時15分までに、原本を学校振興課へ持参し照合してください。

(5) 教育エキスパート特別選考 ①専門教育分野 ②英語教育分野

	試験内容および試験期日		会場
①専門教育 分野	(ア) 教科等専門	平成28年7月16日(土)または17日(日)	福井県立藤島 高等学校
	(イ) 個人面接	平成28年8月6日(土)	
	(ウ) 実績調書	平成28年7月21日(木)までに提出	
②英語教育 分野	(ア) 英語による作文 (イ) 個人面接(英語による面接を含む)	平成28年8月6日(土)	福井県立藤島 高等学校

提出書類

P4の「4 受験手続および受付期間(2)」の必要書類(共通)①～④に加えて、「⑫⑬ 教育エキスパート特別選考申請書」を提出してください。

8月6日の日程等は8月初旬までに連絡します

6 選考基準

(1) 1次選考

選考内容	選考基準
一般教養 100点	「一般教養」と「教職専門」の両方が基準点に達した者を「教科等専門」200点満点の点数順に選考する。 - 第1希望、第2希望のそれぞれについて合否を判定する。
教職専門 100点	
教科等専門 (一部校種・教科は実技も含む) 200点	

(2) 2次選考

選考内容	選考基準
1次試験の教科等専門 200点	- 校種・教科別に500点満点の点数順を基準に選考する。(集団討論・個人面接が基準点に達していない場合には、不合格とする。) - 第1希望・第2希望ともに合格基準にある場合は、第1希望を優先する。
集団討論・個人面接 250点	
小論文 50点	

(3) 加点について

ア 条件と加点点数

〈英語資格〉 ※TOEICについては公開テストのみ有効とします

- ・全校種教科の受験者(中高英語を除く)に対する加点
- ・中高英語の受験者に対する加点

条件	
TOEIC 730以上	15点加点
TOFEL iBT80以上	
英検準1級以上	
TOEIC 600以上	10点加点
TOFEL iBT65以上	
TOEIC 540以上	5点加点
TOFEL iBT57以上	
英検2級	

条件	
TOEIC 900以上	15点加点
TOFEL iBT100以上	
英検1級	
TOEIC 730以上	10点加点
TOFEL iBT80以上	
英検準1級	

〈中国語資格〉

- ・中高英語、中高国語の受験者に対する加点

条件	
中国語検定2級以上	15点加点
HSK5級以上	
中国語コミュニケーション能力検定550以上	
中国語検定3級	10点加点
HSK4級	
中国語コミュニケーション能力検定450以上	

イ 申請方法

- (ア) 志願書の所定の欄に記入してください。
- (イ) 級やスコアのわかる証明書の写しを志願書等の送付時に同封してください。
出願期間内に証明書が取得できない場合は、第1次選考当日までに送付するか、第1次選考当日の受付時に提出してください。(第1次選考、第2次選考ともに加点します)
いずれの場合も、第2次選考の受付時に証明書の原本を提示してください。
- (ウ) 第1次選考当日までに証明書が取得できない場合は、第2次選考当日受付時に証明書の写しを提出し、原本を提示してください。(第2次選考にのみ加点します)
- (エ) 対象資格を複数有する場合は、上位の資格に対するものを1回加点します。(ただし英語と中国語の資格はそれぞれに加点します)
- (オ) 各資格の有効期限は次のとおりです。

英検	期限なし
TOEIC	26年4月1日以降
TOEFL	26年4月1日以降
中国語検定 3級	26年4月1日以降
2級以上	23年4月1日以降
HSK	23年4月1日以降
中国語コミュニケーション能力検定	26年4月1日以降

(4) 小学校実技について

ア 水泳

評価	内容	点数
A	25mを立たずに泳ぎ切る	10点
B	止まってもよいので25mに達する	5点
C	25mに達しない、泳げない	0点

評価Aの者は、平成30年度以降の採用選考試験において、水泳の受験を免除し、10点を与える。

イ キーボード演奏

評価	内容	点数
A	規定の速度で止まらずに弾き切る (ミスタッチ等2回まで)	10点
B	つかえながらも弾き切る、または、止まらずに弾き切るが規定の速度ではない	5点
C	所定時間内に最後まで弾き切ることができない	0点

評価Aの者は、平成30年度以降の採用選考試験において、キーボード演奏の受験を免除し、10点を与える。

7 試験日の携行品等

(1) 第1次選考

対 象	携 行 品
受験者全員	・受験票 ・筆記用具 ・上履きおよび下足入れ袋
「小学校」 受験者	・水泳着および水泳帽 ・サンダル ・バスタオル ・キーボード演奏で使用する楽譜（自分用以外に提出用2部 コピー可）
「中学技術」 受験者	・電卓（計算機能のみのものに限る） ・定規
「中高音楽」 受験者	・自由演奏で使用する楽器（ピアノを除く）および提出用楽譜 （声楽および器楽の受験者とも、当日自分用以外に2部（コピー可）用意してください）
「中高美術」 受験者	・H～5Bの鉛筆 ・定規 ・コンパス ・不透明水彩絵具（12色） ・色鉛筆（12色） ・筆（各種） ・筆洗バケツ ・パレット ・のり ・はさみ
「中高保体」 受験者	・トレーニングウェア ・シューズ（内）等 ※柔道着、剣道用具（竹刀・防具）は必要ありません。
「中高家庭」 受験者	・調理実習に適した服装に必要なもの ・裁縫道具（はさみ（布裁断用、糸切り用）、 縫い針（長、短）、縫い糸（色つき）、まち針、チャコペンシル、しつけ糸） ・30cm定規
「高校商業」 受験者	・電卓（計算機能のみのものに限る）または、そろばん
「高校工業」 受験者	・関数電卓（計算機能のみのものに限る） ・直定規 ・コンパス ※関数電卓で計算機能以外の機能がついているものは使用を認めない場合があります。

(2) 第2次選考

対 象	携 行 品
受験者全員	・受験票 ・筆記用具 ・上履きおよび下足入れ袋

(その他)

- ・第1次選考、第2次選考ともに教育公務員にふさわしい身なりで受験すること。（上着、ネクタイの着用は不要）
- ・試験会場においては、ICレコーダー、デジタルカメラ、スマートフォン、携帯電話、録音・録画・通信・通話のできる機器の使用を禁止します。

8 第1次選考一部免除

(1) 免除となる試験

一般教養、教職専門

(2) 審査対象となる免除条件

P1の「1 受験資格（1）一般選考 ア～ウ」のすべてを満たす者で、次のア～オのいずれかに該当する者は、第1次選考一部免除の審査対象となります。

ア 国際貢献活動経験者

独立行政法人国際協力機構法（平成14年12月6日法律第136号）の規定に基づく青年海外協力隊員として平成23年4月1日から平成29年3月31日までの間に2年以上の派遣実績を有する者（原則として教育に関する国際貢献活動を行ってきた者）

イ 他都道府県現職教員

他都道府県において国立大学法人又は地方公共団体が設置する学校教育法第1条に規定する学校（幼稚園を除く）の主幹教諭、指導教諭、教諭、又は養護教諭、栄養教諭として平成28年3月31日までに継続して3年以上の勤務経験（休職、育児休業の期間を除く）があり、かつ出願時を引き続き任用中の者

ウ 講師等経験者

下記の（ア）～（ウ）のいずれかの条件を満たす者

（ア）平成28年度教員採用選考試験（平成27年実施）受験者のうち、第1次選考合格者および第1次選考不合格者の中で「一般教養」と「教職専門」の両方が基準に達していた者で、下記の「講師等の条件」を満たす者。ただし、この場合の第1次選考一部免除は今回の1回限りとする。

「講師等の条件」

① 平成28年度教員採用選考試験の第1次選考受験後に、福井県内の学校（学校教育法第1条に規定する学校、ただし幼稚園は除く）において、免除対象となる講師等※1で3か月以上※2（見込を含む）の勤務実績を有すること。

ただし、非常勤講師の場合は、授業を週5時間以上※3行っていること。

② 大学または大学院在籍中（通信教育受講生、科目等履修生等を除く）に、平成28年度教員採用選考試験（平成27年実施）を受験した者は、福井県内の学校（学校教育法第1条に規定する学校、ただし幼稚園は除く）において、免除対象となる講師等※1で30日以上（見込を含む）の勤務実績を有すること。

ただし、非常勤講師の場合は、授業を週5時間以上※3行っていること。

※1 福井県内の市町採用および福井県内の国立・私立学校の講師等の場合、教員免許状の所有を条件とし、授業をすることを業務として任用された講師等であること。（チームティーチングによる授業も可）

※2 上記3か月以上の期間計算については、該当月に1日でも勤務日数があれば、1ヶ月と数える。

※3 養護教諭、栄養教諭関連の非常勤の場合「週5時間以上の授業」の条件は問わない。

（イ）受験時に教職大学院（学校教育法設置基準に基づき設置された教職大学院）2年在学者で、平成27年度または平成28年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験において免除条件を満たす者（第1次選考合格者および第1次選考不合格者の中で「一般教養」と「教職専門」の両方が基準に達していた者）で、専修免許状を平成29年3月31日までに取得見込の者

（ウ）平成28年度教員採用選考試験（平成27年実施）の第1次選考一部免除受験者のうち、今年度が免除申請3回目となる者で、上記の「講師等の条件」を満たす者（平成25年度選考受験者で、大学院進学のために本年度選考試験が3回目の免除対象となる者に限定する措置）

エ 本県現職学校栄養職員

平成28年度教員採用選考試験（平成27年実施）受験者のうち、第1次選考合格者および第1次選考不合格者の中で「一般教養」と「教職専門」の両方が基準に達していた者

オ 特別選考関係

スポーツ・芸術特別選考書類等選考通過者で一般選考も希望している者

（3）提出書類

ア 前記「（2）審査対象となる免除条件 ア」に該当する者は、P4の「4 受験手続および受付期間（2）」の必要書類（共通）①～④に加えて、「⑤ 第1次選考一部免除調書A」および、独立行政法人国際協力機構が発行する証明書を提出してください。

イ 前記「（2）審査対象となる免除条件 イ」に該当する者は、P4の「4 受験手続および受付期間（2）」の必要書類（共通）①～④に加えて、「⑥ 第1次選考一部免除調書B」を提出してください。免除調書Bの「在職証明書」欄で、免除要件である3年間勤務の証明ができない場合は、現任校以前の辞令の写し（辞令がない場合は各都道府県で発行する在職証明書）を添付してください。

ウ 前記「(2) 審査対象となる免除条件 ウ」に該当する者は、P 4の「4 受験手続および受付期間(2)」の必要書類①～④に加えて、辞令の写しまたは教職大学院の在学証明書と「⑦ 第1次選考一部免除調書C」を提出してください。

(4) 第1次選考一部免除対象者への通知

提出された書類等により、第1次選考一部免除対象者を決定します。その結果は受験票送付時に通知します。なお、第1次選考一部免除対象者にならなかった場合に、一般選考対象者として受験するには、第1次選考のすべてを受験する必要があります。

9 選考結果の発表

(1) 第1次選考の結果

選考結果は平成28年7月30日前後に第1次選考受験者全員に郵送にて通知するとともに、合格者の受験番号を福井県のホームページに掲載します。ただし、ホームページはあくまでも参考としてください。なお、合格者には第2次選考の日程等の通知を同封します。(通知書が8月2日(火)を過ぎても届かない場合は、学校振興課へ問い合わせてください。)

(2) 第2次選考の結果

ア 選考結果は平成28年10月上旬に第2次選考受験者全員に郵送にて通知するとともに、採用内定者の受験番号を福井県のホームページに掲載します。ただし、ホームページはあくまでも参考としてください。(なお、通知前の問い合わせには応じません。)

イ 日本国籍を有しない者を採用する場合は、任用の期限を付さない常勤講師とします。

ウ 第1次選考一部免除者のうち、P 7の「(3) 平成29年度大学院修士課程修了時特別選考」受験者およびP 12の「ウ 講師等経験者(イ)」による第1次選考一部免除者が、平成29年3月31日までに専修免許状を取得できない場合は「採用内定」を取り消します。

10 選考結果の情報提供

第1次選考および第2次選考の不合格者全員に、下記の選考結果を通知します。

ア ランク A(不合格者の上位)、B(不合格者の中位)、C(不合格者の下位)

イ 点数 第1次選考・・・一般教養、教職専門、教科等専門の各点数

第2次選考・・・教科等専門、面接、小論文の各点数

11 選考結果の開示請求

選考結果については、福井県個人情報保護条例第24条第1項の規定により、選考の結果発表の日から第1次選考、第2次選考それぞれにつき、1か月間に限り口頭で開示を請求することができます。請求者本人(代理人は認めません。)が、本人確認のできる書類(運転免許証等)を持参のうえ、午前8時30分から午後5時15分の間に、直接学校振興課へお越しください。(ただし、土曜日、日曜日および祝日は受付していません。)

12 大学院修士課程修了時特別選考(平成30年度・31年度実施)について

平成29年度教員採用試験(平成28年実施)を受験した大学院修士課程(※教職大学院も大学院修士課程とみなします。以下「大学院」とします。)進学希望者および在学者で、大学院修了後の採用を希望する者が、下記(1)または(2)に該当する場合には、大学院2年次において特別選考を受験することができます。特別選考では、大学院における履修状況の確認や適性検査、個人面接などを行う予定ですが、必ず当該年度の実施要項で確認してください。

制度の詳細は、次のページのとおりで。

(1) 大学院進学を理由に採用を辞退する者の特別選考（現大学4年生対象）【平成31年度特別選考】

ア 特別選考受験条件

次の①、②の両方に該当していることが必要です。

- ①平成29年度教員採用試験における採用内定者であって、大学院進学を条件に採用内定を辞退した者
- ②平成31年3月31日までに、平成29年度教員採用試験において採用内定を得た専門教科の専修免許状を取得見込みの者

イ 手続

- ① 平成29年度教員採用試験出願時に志願書の平成30年度・31年度大学院修士課程修了時特別選考希望欄の「希望する」を○で囲むとともに、「大学院修士課程修了時特別選考申請書」を提出してください。

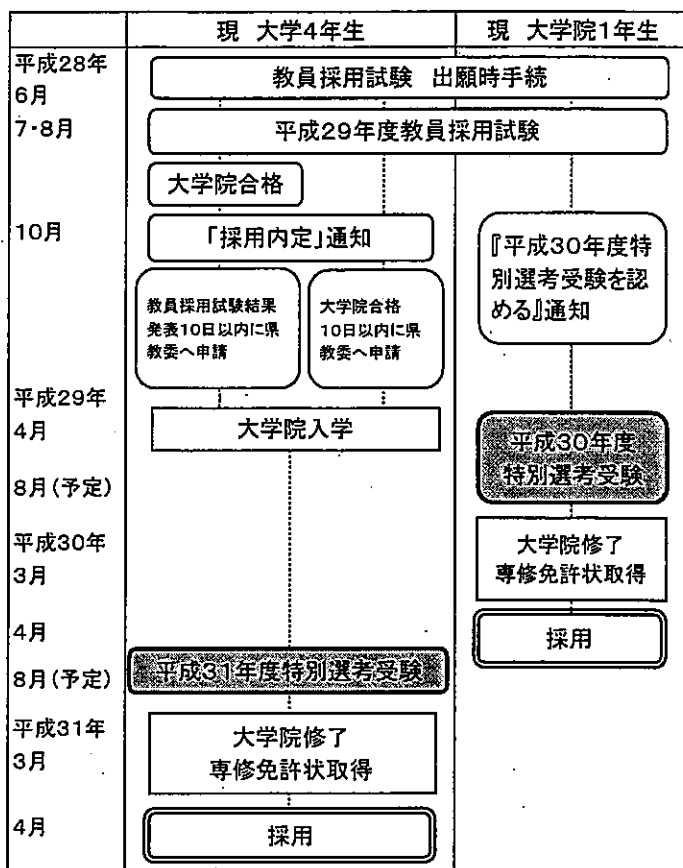
- ② 第2次選考の結果発表前に、大学院に合格した者で、採用内定を辞退し、2年後の特別選考を希望する者は、第2次選考の結果発表後10日以内に所定の用紙（第2次選考結果発表時に送付）で申請してください。

- ③ 第2次選考の結果発表後に、大学院に合格した者で、採用内定を辞退し、2年後の特別選考を希望する者は、大学院の合格発表後10日以内に所定の用紙（第2次選考結果発表時に送付）で申請してください。

ウ その他

平成31年3月31日までに、平成29年度教員採用試験において採用内定を得た校種・教科の専修免許状が取得できない場合は採用されません。

「大学院修士課程修了時特別選考」の主な流れ



(2) 大学院在学中の受験者で、大学院修了後の採用を希望する者の特別選考（現大学院1年生対象）

【平成30年度特別選考】

ア 特別選考受験条件

次の①、②の両方に該当していることが必要です。

- ① 平成29年度教員採用試験において、「平成30年度特別選考受験を認める」旨の通知を受けた者であって、大学院修了後の採用を希望する者
- ② 平成30年3月31日までに、平成29年度教員採用試験で採用内定を得た専門教科の専修免許状を取得見込みの者

イ 手続

平成29年度教員採用試験出願時に志願書の平成30年度・31年度大学院修士課程修了時特別選考希望欄の「希望する」を○で囲むとともに、「大学院修士課程修了時特別選考申請書」および「大学院修士課程在学証明書」を提出してください。なお、この手続をした場合には、平成29年度に採用されることはありません。

ウ その他

平成30年3月31日までに、平成29年度教員採用試験において採用内定を得た校種・教科の専修免許状が取得できない場合は採用されません。

13 試験問題、解答例、配点の公表について

- (1) 試験問題（集団討論の課題用紙は除く。）は当日持ち帰りが可能です。
- (2) 解答例および配点は、採点終了後、県政情報センター（県庁1階）で公開するとともに福井県のホームページに掲載します。

14 その他

- (1) 身体に障害等があり、試験会場において特に配慮を必要とする者は、出願時にその旨を文書（様式自由）で申し出てください。（身体障害者特別選考申請書を提出した者は必要ありません。）
- (2) 受理した提出書類等は返却しません。
- (3) 出願後に改姓した場合または連絡先の記載事項に変更が生じた場合は、すみやかに文書で申し出てください。
- (4) 提出書類に故意に虚偽の記載をした場合、記載内容の秘匿があった場合などにおいては、採用内定を取り消すことがあります。
- (5) 例年、提出書類に不備のあるものが見受けられます。添付されているチェック表を利用して必ず確認をしてください。
- (6) 国立大学法人や他の都道府県での教職員在職期間は、福井県の退職手当に通算されません。